

仙台市一般廃棄物処理基本計画 中間評価について（概要）

1. 中間評価の概要

本計画において掲げる4つの基本目標及び基本方針に基づく施策に係る取り組み21項目について、計画前期（令和3年度～令和6年度）における進捗等を確認し、中間評価シートを用いて、関連する指標や課題等の評価・分析等を行った。

2. 中間評価結果（総括）

- ・計画前期において、ごみ減量は順調に推移しており、基本目標のうち、①ごみ総量、②最終処分量、③1人1日当たりの家庭ごみ排出量については中間目標を達成する見込み。これは、物価高騰に伴う消費活動の変化などの影響も一定程度あるものの、発生抑制を中心とした3Rの推進、積極的な広報などの施策が効果的に機能したものと評価した。
- ・一方、④家庭ごみに占める資源物の割合については、高止まりで推移しており、中間目標の達成は困難な状況であることから、さらなる分別徹底に向けた取り組みの強化が必要。
- ・基本方針に基づく施策に係る取り組み21項目については、「○：順調に進捗している」が20項目、「△：一部遅れている」が1項目、「×：遅れている」は該当なしとなり、多くの項目において、着実に進捗していると評価した。

3. 基本目標の評価結果

評価基準

○：達成に向け進捗している △：一部遅れている ×：遅れている

基本目標	基準値 令和元年度	速報値 令和6年度	中間目標 令和7年度	最終目標 令和12年度	評価
①ごみ総量	37.3万トン	33.6万トン	35万トン	33万トン	○
②最終処分量	5.2万トン	4.2万トン	4.9万トン	4.6万トン	○
③1人1日当たりの 家庭ごみ排出量	463グラム	417グラム	430グラム	400グラム	○
④家庭ごみに占める 資源物の割合	42.5%	45.5% ※	35%	30%	△

※令和5年度に製品プラスチック一括回収を全市で開始したことに伴い、
当該年度から製品プラスチックを資源物として計上している。

4-1. 基本方針に基づく施策に係る取り組みの評価結果①

評価基準 ○：順調に進捗している △：一部遅れている ×：遅れている

基本方針1 発生抑制を中心とした3Rの推進

施策1 ごみ減量・リサイクルによる資源循環		評価
1-1	プラスチックごみの削減 重点	○
1-2	食品ロスの削減、生ごみの減量・リサイクル 重点	○
1-3	緑のリサイクル 重点	○
施策2 ごみの適正排出と分別の促進		評価
2-1	雑がみ・プラスチック製容器包装等の分別徹底 重点	△
2-2	事業ごみの適正排出及び分別徹底	○
2-3	不適正排出・不法投棄防止対策の徹底	○

基本方針2 わかりやすい情報発信と行動する人づくり

施策3 わかりやすい情報発信と行動する人づくり		評価
3-1	情報発信の充実	○
3-2	環境教育の推進 重点	○
3-3	外国人や若年層への周知・啓発	○
3-4	クリーン仙台推進員・クリーンメイトとの連携	○

施策4 社会環境の変化への対応

4-1	高齢化や生活様式の変化に対応した取り組み	○
4-2	地域と連携した課題解決に向けた効果的な仕組みづくり	○

施策5 環境美化の推進

5-1	環境美化の推進	○
5-2	地域清掃や集積所管理の推進	○

4-2. 基本方針に基づく施策に係る取り組みの評価結果②

評価基準 ○：順調に進捗している △：一部遅れている ×：遅れている

基本方針3 安全安心かつ安定的な処理体制の確保

施策6 ごみの適正処理体制の確立		評価
6-1	処理施設の整備計画	○
6-2	効率的な収集運搬体制の構築	○
6-3	ごみ処理手数料のあり方に関する検討	○
6-4	脱炭素社会に向けた取り組み	○

施策7 災害や感染症蔓延など様々な危機に対するしなやかな強さの確保

施策7 災害や感染症蔓延など様々な危機に対するしなやかな強さの確保		評価
7-1	仙台市災害廃棄物処理計画に基づいた処理体制の整備	○
7-2	広域的な災害廃棄物処理体制の構築	○
7-3	感染症の蔓延時における自立的な処理体制の構築	○

- ▶ 詳細な評価結果等については、中間評価シートに記載。

5. 参考指標の進捗状況

参考指標	基準値 令和元年度	速報値 令和6年度	中間目標 令和7年度	最終目標 令和12年度
①事業ごみ量	13.9万トン	12.1万トン	13万トン	12万トン
②リサイクル率	28.5%	- %	30%	32%
③家庭系食品口ス量	1.8万トン	1.2万トン	1.4万トン	9千トン
④廃棄物分野の 温室効果ガス排出量	13.7万トン- CO ₂	10.7万トン- CO ₂	12万トン- CO ₂	10万トン- CO ₂